



わたしたち民主党宇治市会議員団は、皆さんと共に「対話から始まる 思いやりのある まちづくり」による健全な市政運営を目指し日々活動しております。皆さんの「思い」をぶつけてください。

発行:民主党宇治市会議員団
宇治市宇治琵琶33番地(宇治市議会内)
TEL 0774-20-8747 連絡専用: 0774-20-8748 電話
FAX 0774-21-9199

忘れないで! 3.11 被災地!!

7月4日～6日まで福島県(相馬、南相馬、福島、伊達市)、宮城県仙台市に被災地の現状、復興への進捗状況について視察してきました。

放射能汚染の状況、進まない除染作業の実態…日に日に東日本大震災のことが風化してきているように感じる。忘れないで欲しい!!この現状を見て欲しい!!副市長が訴えられる姿に心が揺さぶられました。

ここに住む人たちの思い…自分たちに何ができるのか?復興支援とは何なのか?観光に行く、被災地の物産を購入する、ボランティアとして参加する、義援金を集めるなど、様々な支援のかたちがあると思います。そして、忘れないこと!!つながっていくこと!!これが何よりも重要です。私たち民主党宇治市会議員団も引き続き、被災地支援を積極的に行っていきたいと考えています。



荒れた土地…津波の威力は凄まじい。まだまだ復興には時間がかかる。

伊達市



「除染の実際として、国は除染を推進!とかけ声だけで、市町村に丸投げ状態。」
「メディアの影響、思い込み・既成概念によって誤解を招くケースが多い。」と説明があり、除染の基準の妥当性について0.23という数値がひとり歩きしてしまっている状況です。

相馬市



死者458名、津波による家屋等の流出が1,000棟を超えるなど、人的にも物的にも甚大な被害を受ける。報徳仕法で育てられた市民の勤勉性と、古より幾多の苦難を乗り越えてきた強力な市民の絆を持って、復興に向けて乗り切ろうとされています。

福島市

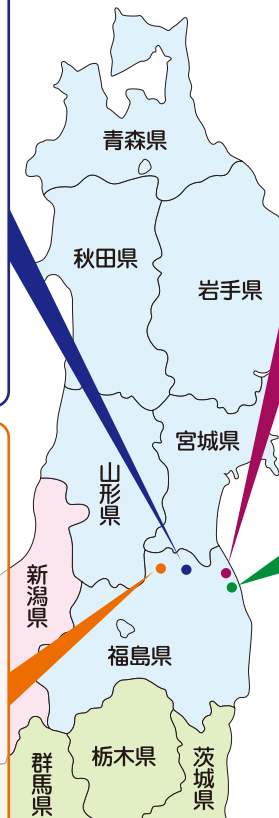


溜まり続ける汚泥。保管量2,292トン。放射性物質が検出されたため処分できず、一時保管しているが、処分の方向性の目は立っていない。風評被害対策に力を注ぎ、安全性をPRし、復興に向けて動き出している。

南相馬市



風評被害によって、住民の避難、小中学校の活動制限、農作物の作付け、商工業事業所の閉鎖・撤退など地域住民の生活不安がおこり深刻な状況に陥っている。心ひとつに世界に誇る南相馬の再興を掲げ、復興に向けて進みだされています。



ホームページをご覧ください!!



民主党宇治 | 検索 
<http://www.wao.or.jp/uji-minshu/>

私たちの目指すカタチ「宇治スタイル」や議会での質問などをタイムリーに掲載。また、皆様からのご意見募集もありますので、どんどんぶつけてください。まちづくりの対話をしましょう。

平成24年6月定例会 一般質問



松峯 茂 議員【まつみね しげる】

個人情報の流出について



質問

5月に2件の個人情報流出事象が発生した。今回の事象を含めて、個人情報の紛失、流出事案は18回目である。個人情報保護という重大な責務を果たすため、再発防止の市長の決意は。

答弁

これまで個人情報の厳正な取り扱いについて、個人情報保護マニュアルおよび各職場における作業マニュアル等で徹底を図ってきました。しかしながら今般立て続けに2件の個人情報流出事案を発生させるという遺憾な事態を招き、関係者の皆様や市民の皆様にご迷惑とご心配をおかけし深くおわびを申し上げます。流出事案の再発に関する背景には、個人情報の厳正な取り扱いに関して職員の意識レベル、行動レベルが十分に徹底されていない状況があると言わざるを得ません。現在、書類発行業務においても改善すべき点がないか各職場での再点検をおこなうこと、また委託業務においても各課で受託者の個人情報取り扱い状況等の点検をおこなうことを指示しています。引き続きシステムや職場体制で防げる方法等についても検討し、改善すべき点は早急に改め、職員ひとりひとりが個人情報流出という事の重大性を十二分に認識した行動を身につけるよう指導を徹底し、流出事案の再発防止に全力を傾注していきたいと考えています。

要望

市長の決意を聞かせていただきました。今後このようなことのない様、この重大さをしっかり受け止めていただき、全力を注いでいただきたいと思います。



真田 敦史 議員【さなだ あつし】

第5次総合計画における市民参画システムの確立について



質問

市長は、魅力あるまちづくりを進めるためには、市民とのパートナーシップによる取り組みが何よりも重要と位置付けている。第5次総合計画において、市民参画システムの確立の中で、市民や地域自らが公共的なサービスの提供に参画し、協働して取り組むことが課題として整理され、目標として、市民や地域自らが公共的なサービスの提供に参画する市民参画システムの構築を進めるとされ、さらに、取組の方向として、協働する地域社会の構築の促進が示されている。市長は具体的にどのような地域社会の構築を考えられているのか。

答弁

心が通い合う地域社会づくりを、市役所だけで市政のすべてを担っていくことは不可能であり、人口減少・少子高齢社会が進展する中で、ふるさと宇治をもっと輝くまちにし、未来の世代にこの素晴らしいまちを引き継いでいくためには、現在も、さまざまな分野で、多数の市民の皆様方に、まちづくりや地域社会づくりに取り組んでもらっているが、これまで以上に、宇治のまちを市民の皆様自身の実践活動の中でつくっていくということを可能とする仕組みが必要であると考えている。そして、そのような仕組みを構築する中で、現在、市役所が担っている役割の一部を財源とともに将来的には移行して、市民自治の拡充と市域内での分権を目指していくことにより、本当の意味で心の通い合う地域づくりが実現し、そのような地域社会の構築が、このまちの将来にとって必要ではないかと感じている。ただ、実現にあたりましては、長い時間と労力が必要であり、まず、その仕組みのあり方について、市民の皆様にご意見を聞き、論議を重ねていく必要があり、具体的な取り組みについては、第2期中期計画の策定を通じて、十分に議論していく。

要望

現在、宇治市では、文化自治振興課を中心に宇治市町内会・自治会等活動推進検討委員会で、地域コミュニティの再生・活性化について議論が交わされている。この検討委員会の議論もしっかりと踏まえ、第2期中期計画の策定を通じて、市民参画システムを確立し、方向性を示していただけるよう要望する。

議員紹介 民主党宇治市議会議員団

矢野 友次郎

やの ともじろう

総務常任委員会 民主党宇治市議会議員団長

琵琶台二丁目10番地の14 TEL.22-0047



西川 博司

にしかわ ひろし

総務常任委員会 委員長

伊勢田町南山42番地の18 TEL.43-5706



松峯 茂

まつみね しげる

建設水道常任委員会 / 議会運営委員会 広報委員会 委員長

木幡北畠25番地の8 TEL.090-8798-6778



田中 美貴子

たなか みきこ

議会運営委員会 副委員長 市民環境常任委員会

横島町落合97番地の60 TEL.20-2002



石田 正博

いしだ まさひろ

市民環境常任委員会 委員長

広野町大開9番地の118 TEL.29-2866



真田 敦史

さなだ あつし

文教福祉常任委員会 副委員長 広報委員会

莒道敷里41番地の314号 TEL.23-3315

